

漫画家・松本零士の表現に迫る、没後初の大型展覧会が開催決定！
『銀河鉄道 999』『宇宙海賊キャプテンハーロック』など数々の名作原画に加え、
デビュー前の初期作品や新たに発見された原画も初公開

「銀河鉄道 999」50周年プロジェクト 松本零士展 創作の旅路

六本木ヒルズ・東京シティビューにて
今夏・2025年6月20日（金）～9月7日（日）に開催



<「松本零士展 創作の旅路」キービジュアル ©松本零士/零時社>

東京シティビュー（六本木ヒルズ森タワー52階）では、2025年6月20日（金）から9月7日（日）まで、『銀河鉄道 999』50周年プロジェクト 松本零士展 創作の旅路』を開催します。松本零士は、代表作である『銀河鉄道 999』『宇宙海賊キャプテンハーロック』をはじめとする数々の名作を生み出しました。こうした作品の数々は、世代・国境を越えて現在も多くの人に愛されています。

1938年に福岡県で生まれ、戦時下の少年時代から夜空を見上げるのが好きだった松本零士は、宇宙を舞台に未来のテクノロジーと壮大なファンタジーが融合したスペースオペラに、平和への願いと未来への希望を込めました。永遠の命に憧れ、機械の体を手に入れる旅に出た鉄郎と、共に銀河鉄道 999 で旅する、黒衣と長い金髪が印象的な謎の美女メーテル。松本零士が生み出した数多くの魅力的な登場人物たちは、大宇宙の終わりなき「時の輪」を旅します。そこには、いつも生きることの尊さ、命の大切さが描かれていました。

本展は、初期作品を含む300点以上の原画、初公開の資料や貴重な思い出の品々を通して、マンガとアニメというふたつのフィールドで独自の世界観を表現し続けた松本零士のアーティストとしての技術と力、70年を超える創作活動で未来に託したメッセージを読み解きます。

星々が夜空に輝く東京シティビューの美しい夜景に時の輪を重ねて、私たちも冒険の旅に出かけてみましょう。

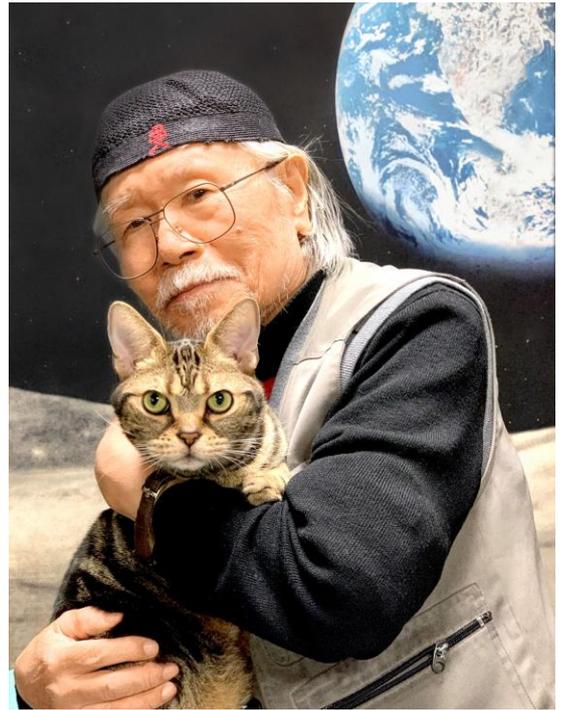
■松本零士氏プロフィール

本名・松本晟（まつもと あきら）。1938年1月25日に福岡県久留米市で生まれ、戦後東京に出るまでを同県北九州市の小倉で過ごす。6歳の頃から絵を描き始め、9歳で運命的な本（『新寶島』『月世界紳士』いずれも著者は手塚治虫）との出会いをきっかけに漫画を描き始める。

15歳の時に投稿作『蜜蜂の冒険』が「漫画少年」の第一回漫画新人王で新人王を受賞して掲載された。これが商業誌デビューとなる。18歳の時に手塚治虫の手伝いを1度したことはあるが、誰かのアシスタントについて師事することは無く、独学で漫画の画法を身に付けていく。

実質的な漫画家デビューは1957年「少女」掲載の『黒い花びら』。しばらくは少女漫画誌での執筆が続く。

1968年代に入り青年漫画誌が誕生し始めたころ「漫画ゴラク dokuhon」に『セクスロイド』を発表。以降、青年漫画誌での執筆が増え、少年・青年漫画のジャンルで活躍するようになった。1970年代にはアニメーション作品に関わることも増え、多くの作品がアニメーションとしてテレビ放送や劇場公開され、SF漫画・アニメブームの火付け役となり、作品は日本を飛び出し世界中に広まった。



©松本零士／零時社

活動の範囲は、漫画の執筆だけにとどまらず、(公社)日本漫画家協会の

常務理事(2000年～2018年)として漫画家の地位向上等に取り組む傍ら、(公財)日本宇宙少年団の理事長(1994年～2021年)として、宇宙・科学をテーマとした青少年教育活動にも力を注ぐなど、多くの団体に要職にあずかり精力的に各地を飛びまわっていた。2023年2月13日星の海に旅立つ(享年85)。

代表作・『男おいどん』『ガンフロンティア』『(漫画)宇宙戦艦ヤマト』『クイーンエメラルダス』『ザ・コクピットシリーズ』『宇宙海賊キャプテンハーロック』『銀河鉄道999』『新竹取物語1000年女王』ほか。

【特別協力：零時社からのコメント】

父、松本零士が星の海に旅立って早2年、このたび関係各社様のご尽力により、原画展を開催する運びとなりました。あんなに大切にしていたペンの1本でさえ持たず旅に出てしまった松本ですが、遺された、まさに星の数ほどの原画1枚1枚には、その時々々の松本がたしかに息づいています。

机に向かい一心不乱にペンを動かす、そんな父の横顔を見ながら私は育ちました。幼い頃は仕事ばかりの父に淋しい思いもしましたが、今、遺された原画を通して、あの頃の父に、少年の日の父に会えた奇跡を、嬉しく幸せに思っております。

「遠く時の輪の接するところで再び巡り会える」松本が常々申し出ていた言葉ですが、それは未来に限らず、過去にも存在しているのかもしれませんが。本展覧会を通じて、ご来場された皆様おひとりおひとりが、それぞれ想い想いの「時の輪の接するところ」にて松本に出逢っていただけましたら幸いです。

(株)零時社 代表取締役 松本摩紀子

■50周年プロジェクトについて

松本零士の代表作である『宇宙海賊キャプテンハーロック』『銀河鉄道 999』が、1977年の漫画連載開始から2027年に50周年を迎えます。これを記念していくつものプロジェクトが動いており、今回の展覧会はその50周年プロジェクトの第一弾です。今、万感の想いをこめて、50周年プロジェクト、発進します。

特別映像「松本零士に想いをよせて」公開

松本零士の親友・ちばてつやと「銀河鉄道 999」や「宇宙戦艦ヤマト」に影響を受け宇宙飛行士になった山崎直子の対談が実現。若き日の松本零士のエピソードや、ちばの漫画への思い、山崎の宇宙への思いや松本が残した影響など、改めて松本零士の魅力を語った秘蔵映像を公開いたします。

【配信概要】

配信作品：特別映像「松本零士に想いをよせて」

配信日：2025年2月13日(木)

配信場所：東映アニメーション公式 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/c/ToeiAnimationjp>



©松本零士/零時社・東映アニメーション

【開催概要】

- ◆展覧会名：「銀河鉄道 999」50周年プロジェクト 松本零士展 創作の旅路
(英語表記) 「The Galaxy Express 999」50th Anniversary Project Leiji Matsumoto Exhibition -Journey of Creation
- ◆会期：2025年6月20日(金)～9月7日(日)
- ◆会場：東京シティビュー (東京都港区六本木 6-10-1 六本木ヒルズ森タワー52階)
- ◆開館時間：未定
- ◆入館料：未定
- ◆主催：東京シティビュー
- ◆特別協力：零時社
- ◆企画制作：東映、東映アニメーション
- ◆監修：表智之 (北九州市漫画ミュージアム)
- ◆後援：J-WAVE、TOKYO MX
- ◆公式サイト：<https://leiji-m-exh.jp>
- ◆公式SNS(X)：@leiji_m_ex (https://x.com/leiji_m_ex)
- ◆問い合わせ：東京シティビュー 03-6406-6652 (受付時間 10:00～20:00)
※その他の詳細情報は、順次公開予定です。

<巡回展情報>

北九州会場：北九州市漫画ミュージアム/会期：2025年9月27日(土)～1月12日(月祝)

◆問い合わせ TEL：093-512-5077 代表：manga@city.kitakyushu.lg.jp

【本展に関する記事・報道のお問い合わせ】

「松本零士展」広報事務局 (共同ピーアール内)

担当：村上、幡井、安田、菅原

TEL：03-6264-2059 (広報事務局代表)、

090-5553-2117 (村上)、090-7909-5164 (安田)

Email：matsumotoleiji-ten-pr@kyodo-pr.co.jp